

点描くんま経済

日銀支店長 見聞録

■64■

「五感で感じる」。

この言葉は、頭で考えることも大事だが、目で見て(視覚)、耳で聴き(聴覚)、鼻で嗅ぎ(嗅覚)、口で食べて(味覚)、手で触れて(触覚)、その時のその場所の状況を把握することが大事だという意味だ。

組織の経営計画について「PDCAは古くOODAとすべき」ということも言われる。これは、PDCA、すなわち計画(Plan)→実行(Do)→点検(Check)→改善(Act)というプロセスは、最初いきなり計画から入っており、周囲の状況の把握

100年のロングセラー

五感で楽しむ味

↓実行(Acct)と、観察から入るプロセスの方が望ましいという考え方だ。なぜ、こうしたことを思ったと言え、群馬県東部にある、今年100周年を迎える、有名な飲料品工場に伺ったからだ。商品名をお書きすることはできないが、「初恋の味」が最初のキャッチフレーズに使われた、夏の暑い時に飲むと最高の飲み物だ。私は子どもの頃から、この飲み物が好きだった。自分で作る時には、親の目を盗んで原液を少し多めに入れて、濃いめを楽しんで記憶が強烈に残っている。

この工場では、100周年を記念して、初めて見学用のミュージアムが造られたのだ。見学させていただいたのが、この飲料の歴代の瓶、広告、工場の製造ラインを見る(視覚)ことができるし、飲料感で感じる「そのもの」

この会社は、これまでの100年を振り返った上で、これからの100年を見通されているとのこと。今回の見学で一番驚いたこと。それは、この飲料が1919年7月7日に発売開始されたということ。この日は私が生まれた日(1969年7月7日)のちょうど50年前。そして、今年はその50年後。栄枯盛衰の激しい飲料業界において、100年間のロングセラーを達成されたことに、ただただ頭が下が

る思いがした。

↓実行(Acct)と、観察から入るプロセスの方が望ましいという考え方だ。なぜ、こうしたことを思ったと言え、群馬県東部にある、今年100周年を迎える、有名な飲料品工場に伺ったからだ。商品名をお書きすることはできないが、「初恋の味」が最初のキャッチフレーズに使われた、夏の暑い時に飲むと最高の飲み物だ。私は子どもの頃から、この飲み物が好きだった。自分で作る時には、親の目を盗んで原液を少し多めに入れて、濃いめを楽しんで記憶が強烈に残っている。



岡山和裕(おかやま・かずひろ) 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大学法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。